

## 行仙宿・天台寺門宗・三井寺奥駈行一行の

### 接待とNHK取材協力

◇実施日；平成26年5月23日(金)；晴時々曇り後晴

◇参加者；川島 功、根木俊明、生熊敏男、畑林秀味、

大江加予子、中川治平、青木宏充、榎本康夫、

奥村順夫、高階美根子、舟瀬 節の11名。

NHK和歌山放送局；斉藤記者、近藤DL、宮川カメラ

マン、古橋ライトマンの4名。 計15名。

山路のサークルK駐車場に行くと、NHK和歌山放送局手配の箱バン(運転手、斉藤記者、近藤DL、カメラマン、ライトマンが同乗)と新宮組が待機している。斉藤記者、近藤DLに挨拶し、初参加の中川さんの紹介(オリンパス等の光学レンズ設計の個人事業者)を受け、皆さんへの挨拶も程々に出発。

途中味噌汁用の豆腐をオークワ有馬店で調達。海山・賀田組と合流する小阪で停車するが待っていない。浦向で待機しているものと出発、途中携帯電話で確認する。

浦向の国道425号線のゲート前には、海山・賀田組と青木車が待機。時間帯交通規制の関係から停車せずに合図をして先へと急ぐが、時間帯交通規制は解除されていた。

本日の作業予定と参加者の紹介を行い、今日と明日からの行事で使用する荷上用品(お茶1箱、カラームかん10kg、お供え、あんパン・食料、調味料・野菜等)があり、荷上げ出来るか心配

したが、参加者も多く全て荷上出来ることになり安堵する。ハイビジョン用カメラが重く、第一ベンチまでの急な登りに弱音を吐かれている。中川さんは83才だそうだが一緒に付いて登られ元気だ。浦向道分岐付近の石楠花の花に癒され第二ベンチで一休み。日陰はひんやりした風が吹き、汗をかけた体には心地よい。



荷を分担しいざ出発！

第二ベンチで小休止、風が心地良い

行者堂のお水替え、吉開賢淳師から託った海苔とカラームかんをお供えして、全員揃った時点で根木さん導師に峰中安全と玉岡さんの快癒を祈願して勤行する。

斉藤記者が9時半過ぎに三井寺一行の福家紀明さんに携帯電話で現在地を聞くと「垂直の鎖場を過ぎ地蔵岳山頂」とのこと、予定通りだが早い！ 電話を替わり昼食場所を尋ねると「行仙宿です、笠捨山到着時に再度連絡」して下さること。この調子だと12時半過ぎには到着されるだろう。

榎本・青木・畑林さん達は水汲みへ、残りの男性は行者堂の幟立て、女性には紅茶・お茶・味噌汁の調理をお願いする。

川島は行仙宿到着前の取材撮影になりそうな「から池」付近を案内する。その後、NHKの方達は行仙岳迄の撮影ポイントを探しに行かれる。

その間に、一行に手渡す吉開賢淳師から頂いたお茶(500ml)、カラーミかん2個・あんパン1個を袋詰め。11時より昼食。

福家さんからスピードダウンして笠捨山手前を登行中と連絡がある。斉藤記者は大阪の空撮担当に連絡すると、雲が低く見合わせていたが、約40分の遅れが出たと連絡に、再度天候調査の上でヘリが飛ぶとのこと。

やがてヘリの爆音が聞こえ、笠捨山へと向う。三井寺一行は笠捨山から下山中との連絡があるが、ヘリから確認出来ないとのこと。山頂から約400m下るまでは、樹林帯なのでその地点を過ぎると確認できるはずと斉藤記者に伝える。行仙宿上空辺りで旋回したヘリは、笠捨山北面でホバーリングしている。

三井寺一行に手を振らない様にと空撮担当者から斉藤記者に連絡があり、三井寺一行に連絡。その後数回旋回し行仙宿付近の空撮も終え機影が消える。修験者一行の空撮は、S52年のNHKアーカイブス以来37年ぶりになり、遅れたことにより奇跡的にバッチリ撮影出来たと斉藤記者が喜んでおられる。

13時前になり一行の到着を知らせて貰う為に、遮信道(鉄塔巡視路)分岐近くに待機連絡を榎本・畑林さん達にお願いする。

13時半になり様子を見に行くと待機している榎本さん達が見当たらない。一行の法螺の音がするが大分遠そうだ。14時

前になり。法螺の音が大きく聞こえ、根木さんも法螺を吹き返す。榎本さん達は、遅いので八大金剛童子像まで登り待機。一行は荷が重くかなり疲れていると戻って来る。

14時10頃に佐田ノ辻で「お疲れさま！」と声をかけ握手で出迎える。懇意にして頂いている吉開賢淳師も参加されており、力強く握手でお迎えし、食事中に寄贈のお礼を述べる。行者堂で三井寺(園城寺)一行22名による般若心経が新緑の峰々に響き、荘厳な雰囲気やNHKが取材撮影されている。

まず紅茶で喉の渇きを潤して頂く。昨日も遅れがあり今朝は3時発でなく1時半に玉置神社を出立したが、やはり体調不良者により大幅に遅れたとのこと。昼食は未だで非常に遅い昼食をされる。小屋内に入って食べられる様に食台を準備していたが、室外で昼食となり味噌汁・お茶を提供する。律儀に行仙宿2まで空腹で抖擻され、疲れも加わり遅れたのかもしれない。



行者堂で三井寺一行の勤行



行仙宿出立前の隊列準備

今秋三井寺は、智証大師1200年遠忌に当り、10名は玉置

神社く前鬼、12名は本宮く吉野までの記念順峯奥駈行とのこと。  
今日の宿泊は、これから約4時間かかる持経宿迄歩くことになる為、慌しく食事を終え、14時50分行仙宿を出立される。  
我々は、管理棟を過ぎた広い尾根で「満行されますように！」と見送る。急斜面の坂上では一行を取材撮影されている。



小屋を出た急な坂道「満行されますように！がんばれー」

行仙岳でも取材撮影することから先行される。

福家さんには、不調で歩くの無理であれば、行仙宿より下り、白谷林道を経て持経宿まで車で送る旨を申し出たら、荷物でも運搬の話であったが、本人は修行なので頑張ると言われたので、頑張られる事でしょうと出て行かれた。

三井寺一行は、普段の足なら持経宿迄約4時間であるが、これまでの体調不良者が居る事を考慮すると、20時頃になるのではと一寸心配する。

近藤DLは、明日沖崎さん達と再度登り、茂原クリニックとの普請作業を取材撮影される事から、新宮まで同乗となる。  
行仙岳で取材撮影後、行仙宿に戻るまで待つことになる。

その間に後片付けをするが、海山・賀田組は15時過ぎに下山させる。取材班は16時前に戻られ、小休止後に日帰り新宮組とNHK取材班は下山。近藤DLは新宮へ、残りのNHK取材班は、吉野経由で和歌山へ帰局される。  
今夜宿泊の生熊・青木・川島は、生熊さん調達のおでん、マクロの干物・青木さん持参の豆腐、ベーコン等の豪華な夕食となり、青木、川島は盛り上がり議論と談笑を交わし22時過ぎに就寝。

最後に、NHK取材班の皆さん本当にお疲れ様でした。



下山前にNHK取材班と新宮組の記念撮影

#### ◇本行事の寄贈品

吉開賢淳師；お茶(500ml×24本)1箱+缶ビール1箱

+お供え海苔3箱。川島 功；カラーみかん(4kg)。

三井寺一行；お供え料5万円。青木宏充；踏み台1脚。

(文責；川島)